

- ・観光・商業機能
既存の機能集積をさらに育成・強化する。
- ・広域交流拠点機能
広域との交流・連携を高めるため、既存の機能集積をさらに育成・強化する。
- ・シンボル機能
函館の地域個性の強化、新しい魅力ある都心空間を形成する。

○函館駅周辺整備の方針

■21世紀に向けた高次都市機能の集積拠点

- 高次業務機能の導入
 - ・港湾関連事業事務所、船舶関連職員福利厚生施設など
 - ・情報通信、対ロシアサービス業務など
- 情報・文化・交流機能の導入
 - ・総合情報センター、青少年科学館
 - ・ベイサイドホール（多機能型多目的施設）
- 観光・商業機能の導入
 - ・都市型、シーサイド型宿泊施設
 - ・観光、日常生活文化型物販飲食店
- 広域交流拠点機能の整備
 - ・JR駅舎、駅前広場、駐車場
 - ・旅客船ふ頭シーポートターミナル（旅客船ターミナル）シャトルターミナル
- シンボル機能の導入
 - ・緑地・広場

◎出席報告

会員数	66名	出席率	函館北	2月3日	84.38%
出席	44名		函館東	2月2日	78.95%
欠席	22名		函館	1月28日	77.98%
他クラブ出席	10名		函館五稜郭	1月29日	100.00%
出席合計	54名		函館亀田	2月1日	79.25%
除外者	2名				

・テレフォンサービス（例会移動案内）電話23-2377番

次回・3月3日 プログラム	「夜間例会」 ソロプチミスト函館との合同懇親会 函館国際ホテル 18時～
------------------	--



The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

1998～99年度 国際ロータリーテーマ

ロータリーの夢を追い続けよう

FOLLOW YOUR ROTARY DREAM

新 博夫会長テーマ『明るく、楽しいロータリー』



2月17日卓話 石井 直樹氏

《第1718回例会》 第32号 2月20日（土）

本日のプログラム

「移動例会」

ホテルオークランド 12時～

★会長 新 博夫 ★幹事 小笠原 孝

1998～1999 <第1717回例会> 第 31 号

2月17日の記録

◎司 会 新 博夫 会長 ◎斉 唱 手に手つないで

◎ゲ ス ト 函館駅周辺整備事務局長 石井 直樹 氏

◎ビジター 函館R.C. 石塚元彦君、函館五稜郭R.C. 松本満隆君

◎会長報告 新 博夫 会長

○前々週に届いていました松見会員へのポール・ハリス・フェローの認証状、メダルをお渡しします。

◎幹事報告 小笠原 孝 幹事

○次週24日の例会は20日(土)12時に変更し、ホテルオークランドにて開催致します。

○本日案内致しましたが、3月3日(水)当クラブ例会は夜間例会と致します。

当日は加藤渡島支庁長にお話しをしていただき、その後ソロプチミスト函館の皆様との懇親会を開催致します。

○第2510地区の今年度地区大会の登録ご案内 5月21日・22日両日、苫小牧市において開催されますので、会員多数のご参加をお願いします。

○和歌山城南R.C. より会報が届きましたので回覧致します。

○本日例会終了後臨時理事会を開催致します。

◎親睦活動委員会 木戸浦静男 委員

ニコニコBOX投入報告

新 会長……健康診断を受けました。斉藤先生有難うございました。

小笠原幹事…… //

山下(浦)会員…… //

田守 会員…… //

森(秀) 会員……BOXに協力。

木戸浦会員…… //

松見 会員……職業奉仕委員会の今日の検診、斉藤先生ご協力有難うございます。先週の約束の……に。

藤野 会員……BOXに協力。

加藤 会員…… //

斉藤 会員……健康診断やっています。

千葉 会員……健康診断を受けました。注射痛かったです。

石上 会員……BOXに協力。

◎卓話「都市研・駅前再開発計画について」 函館駅周辺整備事務局長 石井 直樹 氏

平成9年2月函館駅周辺土地利用基本計画を策定し、平成10年9月函館駅前土地区画整理事業計画の決定公告しました。

○計画策定地域の機能導入方向

■函館駅周辺地区をめぐる都市機能集積の状況

- ・人口の大幅減少(若松・松風・東雲町ではS50～H2で半減)
- ・業務機能の低下・停滞 (従業員数・従業者比率の長期的減少傾向の継続)
- ・商業集積の駅前・大門地区、本町・五稜郭地区、美原地区への三極分化の進展、駅前・大門地区の比重低下
- ・観光関連の最寄品販売の順調な推移
- ・物流機能から業務、観光、交流機能へと更新・高度化の進む港湾機能
- ・若者をひきつける都市アメニティ施設の不在

■地方都市整備の基本方向

- ・新しい産業再配置(情報関連サービス産業などのオフィスの地方立地等)
- ・国際交流機能の充実(教育・産業・文化・スポーツ等多様な交流機会の形成等)
- ・都市環境の整備(都市機能集積拠点の形成、都市的魅力の増進等)
- ・地域の一体化と地域間の連携強化(広域、交流都市圏ネットワークの形成等)
- ・個性豊かな地域づくり(地域資源の活用によるアイデンティティのかん養)

■函館駅周辺地区の位置づけ(めざすべき方向)

<都心性の回復、活性化>

- ・高次の業務機能の集積拠点
- ・広域との交流・交通拠点
- ・観光・レクリエーション拠点
- ・都市型定住拠点
- ・観光・業務関連と後背圏人口に対する複合商業拠点

■計画策定区域に携わる資質

- ・陸・海・空に渡る広域的な交通結節点
- ・利活用可能な用地確保の可能性
- ・都市と港との接点
- ・函館山、西部地区等の函館独自の地域資源に近接

■計画策定区域の機能導入方向

- ・高次業務機能
次代の地域を支える情報化、国際化等に対応する新たな機能の集積を図る。
民間による立地を促す先導的な機能の集積を図る。
- ・情報・文化・交流機能
都心の魅力の増進、高次業務機能の集積化を促進するため、新たに導入する。